

乙 頁

1981.07.31 発行

第1巻第4号 通巻第4号

守山市立埋蔵文化財センター (5-4397)
T-524-01 守山市服部町1318番地

伊勢遺跡で五角形堅穴式住居跡を発見

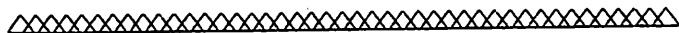
昭和56年4月13日から発掘調査を進めている伊勢遺跡で県内でも珍しい五角形の堅穴式住居跡が発見され注目されています。この遺跡は民間の住宅開発に先立って市教委が調査を進めていたもので、五角形の住居跡の他、偶丸の正形状の堅穴式住居跡が七軒、掘立柱式建物跡が三軒以上、井戸跡が一所をこれまでに発見しています。遺跡の年代は堅穴式住居跡が弥生時代の終りころ、掘立柱式建物と井戸跡が平安時代の終りころと考えられます。五角形の住居跡は余呉町で一軒、他に一ヶ所と少なく、どのような人が住いたのか、また伊勢町の一帯の昔を知る上で貴重な発見をもたらせることになりました。(伊勢遺跡の調査は少々地点をかえて一東海道線の東の隣接地一7・8月も継続しています。)



※※ 埋蔵文化財確認調査の必要性は・・・※※

市教委では昭和55年8月から埋蔵文化財の正確な所在をつかむために確認調査を実施しています。これは守山市の土地条件が傾斜地のため地下深く埋もれてしまっていて分布調査をおこなっても、なかなか正確にすることができないこと、そして大規模な開発の場合にも事前に埋蔵文化財の有無を調べることによって不時発見という事態をなくし、積極的な文化財保存が可能となるように考えて実施しているものです。

市の区域内で1000平方メートル以上の開発をする場合を対象としています。これまでに多くの遺跡を知ることができ、発掘調査の成果も、また保存についても積極的な結果を得ることができています。



◎個人住宅の建築も事前に発掘調査をします

昭和55年度から周知の遺跡(県・市で作成している遺跡分布地図に記載されていて、その概要が少しでも知られている遺跡)内で住宅専用の家屋を建築する場合も発掘調査が義務づけられています。市教委ではこの法律に基づいて個人住宅の建築に先立って発掘調査を実施しており、農地転用や建築確認の段階で指導をしています。

この場合の調査に要する経費は全て市で支出しますので遺跡内での建築になる方は早い目に市教委社会教育課へ届け出て下さい。

連絡先一守山市教育委員会社会教育課 電話 3-2525

有線 10619

あるいは市立埋蔵文化財センター 電話 5-4397

◎◎◎ 特 別 展 の お 知 ら せ ◎◎◎

市立埋蔵文化財センターでは下記によって夏季特別展を実施しますので期間中多数の見学、研修を案内いたします。

今回の内容は夏休みの児童、生徒を主に埋蔵文化財の理解を深めることと実物に直接手を触れて研修することを目的としています。

記

- | | | |
|-------|-------------------------|---------|
| 1 期 間 | 昭和56年8月16日(日)～8月23日(日) | |
| 2 場 所 | 市立埋蔵文化財センター ホールおよび二階会議室 | |
| 3 時 間 | 午前9時～午後4時 | |
| 4 研 修 | 8月16日(日) 午前10時～12時 | 土器接合 |
| | 午後2時～午後4時 | |
| | 8月22日(土) 午前10時～12時 | 土器接合 |
| | 午後2時～午後4時 | |
| | 8月23日(日) 午前10時～12時 | 講演とスライド |

※研修は部屋の都合で人数が多くなった場合、制限をすることがあります。

指導は社会教育課、埋蔵文化財センターの職員がおこないます。

◎◎◎◎ 埋蔵文化財あれこれ質問と答

質 問 埋蔵文化財と考古学、埋蔵文化財と遺跡はどう違うのですか？。

答 埋蔵文化財という言葉は比較的新しい用語で文化庁、県、市など行政機関(役所)が使い出した言葉です。内容は地下に埋蔵、包蔵されている文化財のことで遺跡といっても大差ありません。考古学というのは埋蔵文化財を研究の材料としてあつかう学問のことです。かんたんというなら、埋蔵文化財は役所の用語で研究する人たちが考古学、遺跡という言葉で研究し、呼びならわしているということです。

質 問 遺跡や遺物の時代は何で決めるのですか？

答 主として遺跡から出土する遺物によって年代を考えています。各時代、時代で使用する道具や容器の型が変化することは現在でもテレビの型や内容が変わるのと同じで型や特長の差で前後を考え

年代のわかる遺物と比較して時期を限定します。ただし、何十何年という詳しいところまではなかなか明らかにすることはできないのが現状です。

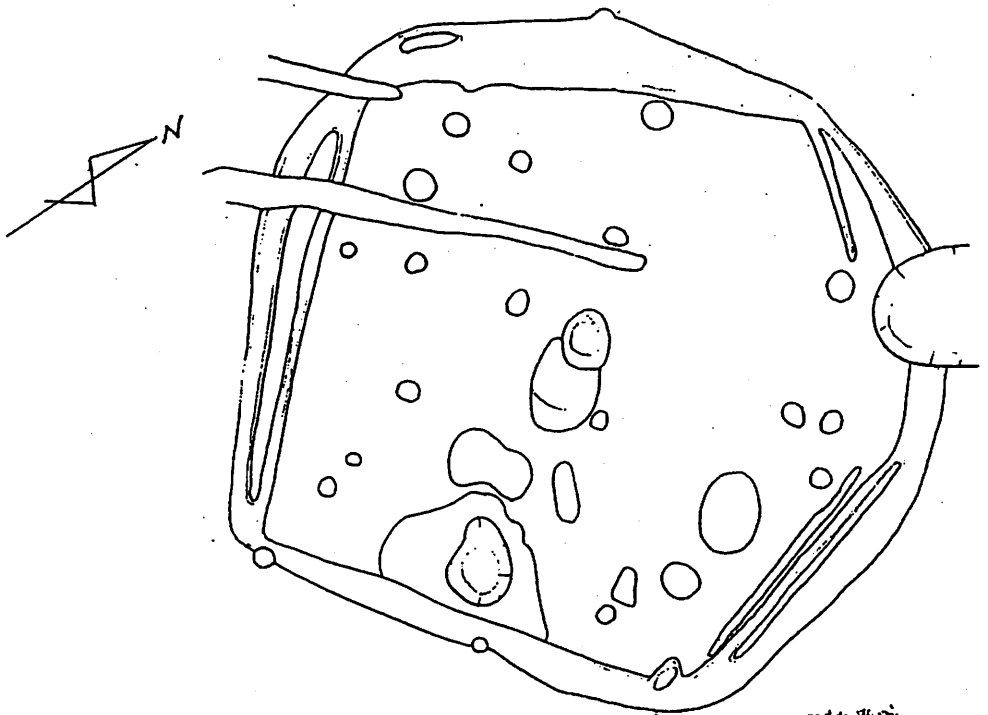
年代のわかる遺物というのは木簡といって板に墨で文字を書いているものが多く、この木簡と一緒に出土した土器を基準にして比較をします。



△△ 刊 行 図 書 の お 知 ら せ

- ◎ 「吉身南遺跡発掘調査報告書」(公共下水道埋設地所在)
- ◎ 「古高遺跡発掘調査報告書」(市開発公社宅地造成地所在)
- ◎ 「吉身南遺跡発掘調査報告書」(つがやま荘建設地所在)

春のゴールデンウィーク期間中に開催した「守山の石器展」には延べ500人の見学者が入館されました。貴重な御意見、御指摘をいただきました。今後のセンター運営に生かしてゆきたいと思えます。ありがとうございました。



伊勢遺跡
五郎塚遺跡